塩竈市（しおがまし） 構成文化財（こうせいぶんかざい）

塩竈市市街地

構成文化財一覧

① 鹽竈神社

② 鹽竈神社歴代藩主奉納太刀

③ 鹽竈神社の帆手祭・花祭

④ 勝画楼

⑤ 籬が島

年　　月　　日

鹽竈神社（しおがま じんじゃ）

場所　塩竈市一森山

見どころ

みなさんが気づいた、紹介したい見どころを書きましょう。

塩竈市の花：白菊

説明

古くから東北地方全体の守り神として朝廷（ちょうてい）から保護を受け、平泉（ひらいずみ）の藤原（ふじわら）氏、仙台藩の伊達氏も信仰（しんこう）してきた歴史ある神社です。江戸時代は、仙台藩の歴代藩主（れきだい はんしゅ）が神社の「大神主（おおかんぬし）」という役割りで、祭事（さいじ）を行いました。今の社殿（しゃでん）（神社の建物のこと）は4代藩主伊達綱村（だて つなむら）と5代藩主伊達吉村（だて よしむら）によって建てられたものです。

MEMO　教えてもらったことや、自分で調べたことなどをメモしましょう！

年　　月　　日

籬が島（まがきしま）

場所　塩竈市新浜町

見どころ

みなさんが気づいた、紹介したい見どころを書きましょう。

塩竈市の花：白菊

説明

今の塩竈市魚市場の近くにうかぶ小島で、古くから和歌によまれた歌枕（うたまくら）の地です。松尾芭蕉（まつおばしょう）の『おくのほそ道』には、漁師（りょうし）たちの声とともに、夕日にてらされた籬が島をながめることができたと書かれています。大正から昭和にかけて、周辺はうめ立てなどの開発が進みましたが、籬が島だけはそのままのすがたで残されています。

MEMO　教えてもらったことや、自分で調べたことなどをメモしましょう！

年　　月　　日

鹽竈神社歴代藩主奉納太刀

しおがま じんじゃ れきだい はんしゅ ほうのう たち

所蔵　鹽竈神社博物館

画像提供：鹽竈神社博物館

見どころ

みなさんが気づいた、紹介したい見どころを書きましょう。

塩竈市の花：白菊

説明

仙台藩の歴代藩主は、節目ごとに領地の平和や発展を願って太刀をおさめました。鹽竈神社は、別宮・左宮・右宮の三神をまつっているため、一度に3本の太刀がおさめられました。歴代藩主が納めた太刀は 39 本にのぼり、そのうち 35 本が、はなやかな拵（美しくかざられた「さや」など、太刀の装飾のこと）とともに保存されています。

MEMO　教えてもらったことや、自分で調べたことなどをメモしましょう！

年　　月　　日

勝画楼（しょうがろう）

場所 塩竈市宮町

見どころ

みなさんが気づいた、紹介したい見どころを書きましょう。

塩竈市の花：白菊

説明

5代藩主伊達吉村（だてよしむら）が、ここからの眺（なが）めを「画（え）にも勝（まさ）る」として「勝画楼」と名付けたとされる建物です。伊達吉村以降の仙台藩主が鹽竈神社（しおがまじんじゃ）をおまいりするときの御休所（おやすみどころ）として使われました。その後、明治天皇が東北地方をおとずれたときには、行在所（あんざいしょ）（天皇の旅先でのお休み場所のこと）として利用されました。

MEMO 教えてもらったことや、自分で調べたことなどをメモしましょう！